

活 用 事 例	愛知県豊橋市立牛川小学校	鈴木康弘校長
活用事例タイトル	ネットマスターへの道～情報モラルを学ぼう～	
対象授業科目/活動	道徳	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	【単元名】 ネットマスターへの道～情報モラルを学ぼう～ 【授業者】 深谷菜々教諭 【対象学年】 小学3年 【ICT 使用場面】 本学級の児童は、さまざまなことに興味をもち、意欲的に取り組んでいける。その反面、興味本位に活動し目先の楽しさや安易さに流される場面も少なくない。また、インターネットを利用したりゲーム機で通信機能を使ったりしている子はクラスの3分の2を占めている。子どもたちはインターネットを「便利で楽しいもの」と認識しており、危険や難しさについてはまだ考えが及んでいない。そこで、危険に合わないよう自分ならどうするか判断できる基準をつけさせるために本単元を設定した。インターネットを使う各場面自分ならどうするかを考える場を設け、それをもとに友達と話し合っどう行動したらよいか考えていく学習活動を設定していく。本単元を通し、自分なりに決めた基準をもとに判断や行動ができる子になってほしい。 本時は、主人公が家の人が留守の間にインターネットを使用し、割引券がもらえるサイトに名前と連絡先を入力してしまいそうになるという資料である。主人公の挿絵を大型テレビに映し、状況を把握させていく。個人の情報を入力する場面自分ならどうするか考えることで、約束と誘惑に葛藤する気持ちに気づくとともによく考えて行動することの大切さに気づかせたい。	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	【単元のねらいと目標】 ・ 情報を使うときのルールやマナーを守ろうとする気持ちが高まる。 (関心・意欲・態度) ・ インターネットの使い方についてのモラルを考え、自分の考えをもち、話し合いを通して更に考えを深めることができる。 (思考・判断) ・ インターネットを使って、自分が必要な情報をさがすことができる。 (技能) ・ インターネットやデジタルカメラの使い方を知り、安全に使うことができる。 (知識・理解)	

- ・ 情報を使うときのルールやマナーを守ろうとする気持ちが高まる。 (関心・意欲・態度)
- ・ インターネットの使い方についてのモラルを考え、自分の考えをもち、話し合いを通して更に考えを深めることができる。 (思考・判断)
- ・ インターネットを使って、自分が必要な情報をさがすことができる (技能)
- ・ インターネットやデジタルカメラの使い方を知り、安全に使うことができる。 (知識・理解)

ネットマスターに
なるためによく考
えてみたいな

ネットマスターになる
ためにインターネット
の使い方を知りたいな

知恵を磨く領域

インターネットってどんなものかな
みんなで使ってみよう 総合①

デジタルカメラ（タブレット端末）の正しい使い方を知ろう 図工①

協力してインターネットを使おう
～検索の仕方～ 総合①

考えを深める

デジタルカメラを使うときのマナーを考えよう 総合①

インターネットを安全に使おう 総合①

ホームページの正しい使い方 社会①

気持ちを高める

＜インターネットを使って調べよう＞

まつりを
しらべて
みよう
国語②

昔の道具を調べよう
社会②

おいし
いうど
んのひ
みつ
総合①

広げる

- ・「自分ならどうするか」考えて、自分の考えをしっかりとつことが大切なんだね
- ・情報を正しく使いこなすスキルを学び続けることが必要だね

もっと上手に使えるように勉強しよう

本学級の児童は、さまざまなことに興味をもち、意欲的に取り組んでいける。その反面、興味本位に活動し目先の楽しさや安易さに流される場面も少なくない。また、インターネットを利用したりゲーム機で通信機能を使ったりしている子はクラスの3分の2を占めている。子どもたちはインターネットを「便利で楽しいもの」と認識しており、危険や難しさについてはまだ考えが及んでいない。そこで、危険に合わないよう自分ならどうするか判断できる基準をつけさせるために本単元を設定した。インターネットを使う各場面自分ならどうするかを考える場を設け、それをもとに友達と話し合っどう行動したらよいか考えていく学習活動を設定していく。本単元を通し、自分なりに決めた基準をもとに判断や行動ができる子になってほしい。

本時は、主人公が家の人が留守の間にインターネットを使用し、割引券がもらえるサイトに名前と連絡先を入力してしまいそうになるという資料である。主人公の挿絵を大型テレビに映し、状況を把握させていく。個人の情報を入力する場面に自分ならどうするか考えることで、約束と誘惑に葛藤する気持ちに気づくとともによく考えて行動することの大切さに気づかせたい。

(1) 目 標

- よく考えて行動し、ルールを守って生活をしようとする態度を育てる。

(2) 準 備 PC, 児童用資料 (前半部分), ワークシート, タブレット端末

(3) 展 開

時間	学習活動	※支援・留意点	◆ICT活用	☆評価 (方法)				
5	1 インターネットを使った体験を想起させる。 インターネットを使ってよかったことは何ですか ・知りたいことがすぐ調べられるよ ・検索機能を使うと, 知りたいことがわかるよ ・情報がたくさんっているよ			※学校や家でのインターネットの経験を話し合うことで, 主人公の気持ちに近づけさせる。 ◆本文を教師が読み聞かせ, 場面における登場人物の絵を大型テレビに映すことで, 課題をつかませる。 【課題提示】				
	2 資料「少しだけなら」の前半を聞いて話し合う。 画面にわり引き券のサイトを見つけたとき, たかしはどんな気持ちだったでしょうか ・わり引き券が気になるなあ ・見てみたい ・少しだけなら大丈夫だろう ・お母さんと約束したからな ・見たいけど, どうしよう ・あやしいサイトかもしれない あなたがたかしくんだったら再びサイトに進んだあと, どうしますか。 <table><tr><td>入力する ・わり引きけんがほしいな ・みんなもやっている ・気になってほかのことができないよ ・入力してもお母さんにばれない </td><td>入力しない ・約束しているからやらない ・こわいことになってしまう ・お母さんにおこられる ・名前を入れたら, どうなるかこわい </td><td>大人に相談する ・お母さんが帰ってきてから聞いてみよう ・今はやめておくよ ・心配だけど, ほしいからお母さんに相談してみよう </td></tr><tr><td> ・きけんなことになるからやめたほうがいい </td><td> ・あぶないサイトを見て, しかられたことがあるから入力しない </td><td> ・大人に相談するって前に勉強したよ </td></tr></table>	入力する ・わり引きけんがほしいな ・みんなもやっている ・気になってほかのことができないよ ・入力してもお母さんにばれない 	入力しない ・約束しているからやらない ・こわいことになってしまう ・お母さんにおこられる ・名前を入れたら, どうなるかこわい 	大人に相談する ・お母さんが帰ってきてから聞いてみよう ・今はやめておくよ ・心配だけど, ほしいからお母さんに相談してみよう 	・きけんなことになるからやめたほうがいい	・あぶないサイトを見て, しかられたことがあるから入力しない	・大人に相談するって前に勉強したよ	
入力する ・わり引きけんがほしいな ・みんなもやっている ・気になってほかのことができないよ ・入力してもお母さんにばれない 	入力しない ・約束しているからやらない ・こわいことになってしまう ・お母さんにおこられる ・名前を入れたら, どうなるかこわい 	大人に相談する ・お母さんが帰ってきてから聞いてみよう ・今はやめておくよ ・心配だけど, ほしいからお母さんに相談してみよう 						
・きけんなことになるからやめたほうがいい	・あぶないサイトを見て, しかられたことがあるから入力しない	・大人に相談するって前に勉強したよ						
30	3 資料の後半部分を読んで話し合う。 タイマーの音を止め, じっとパソコンの電源を見つめていたとき, たかしはどんな気持ちだったでしょうか ・危なかった。 ・タイマーが鳴らなかつたら, 入力していたかもしれない ・お母さんと約束したのにやぶってしまった ・やめることができてよかった ・次は気をつけよう			◆後半の読み聞かせではパワーポイントで挿絵を提示することで, たかしの行動を把握させる。 【情報共有】 ※子どもたちの意見に切りかえしていくことで, 後悔する主人公の気持ちに寄り添わせていく。				
37	4 自分の生活をふり返ろう。 たかしくんに手紙を書こう たかしくんへ ・タイマーでやめることができてよかったね ・次は約束が守れるといいね ・わたしもお母さんとの約束をやぶりそうになったことがあるよ ・ぼくもインターネットをする時に危ないことがあったよ ・これからは約束をしっかり守っていききたいな			※主人公に手紙を書かせることで, 自分の生活をふり返り, 今後気をつけることを確認する。 ☆よく考えて正しい行動をしようとする気持ちを高めることができたか。 (ワークシート・発言) ※同じような経験がある児童のふりかえりに共感させることで, きまりを守ろうという気持ちを高めさせる。				